

## 記 事

◎第4回理事会(昭.26.9.7)出席者:大西会長,稲浦,立花両副会長,坂本,高畑,富樫,西松,本間,米元の各理事,協議事項:(1)基金運用について銀行株は第一銀行,富士銀行株,投資信託は4大証券のものを等分に入れ,割興は目下手配中,(2)事務所増築費の賛助会費は建設業者の分は50万~60万円は集る予定であると西松理事の報告及び橋梁関係,セメント業者,建設機械業者に対しても夫々尽力中とのことである。(3)日本集金サービスKKの申出については近く集金郵便も復活する模様であり,又会社の内容も調査の上暫らく様子を見ること,(4)日本工学会の会費値上は了承,(5)日本学土院の授賞参考資料は本間理事一任,(6)毎日工業技術賞候補は期日切迫のため調査の余裕がない。(7)秋のエキスカッションは前号発表の通り決定,(8)日発記念基金により本年度下半年期利子によつて論文集を発行し会員全部に配布すること。(9)名簿に業者案内募集については建設省,国鉄その他関係方面にお願する。(10)会員入退会の承認。

### ◎各種委員会

(1)編集委員会(昭.26.9.20)出席者:本間,米元正副委員長外各委員,協議事項:(a)原稿審査報告及び新原稿審査委員の決定,(b)第11号登載論文を次のように決定。

畑野正:地震時動水圧の模型実験,後藤尙男・三輪利英:弾性基礎にある梁に関する2,3の解法,丸安隆和・水野俊一:現場コンクリートの強度試験方法についての2,3の問題,小川元:管路における砂水流れの抵抗について,米沢博:鋼道路橋鉄筋コンクリート片持版の荷重分布有効巾に関する研究,松尾新一郎・片山重夫:土の懸濁液の粘性に関する実験的研究,坂本貞雄:骨材の粒度の不均等性がコンクリートに及ぼす影響について。

(2)Dr. Savageの行程打合(昭.26.9.21)出席者:

高畑理事,種谷,高橋,佐藤,細田の諸氏,協議事項:

(1)建設省座談会,小河内ダム,中部電力佐久間ダム

視察及び土木学会講演会の日取を協議した。

### ◎その他

(1)日本学会議事会長から9月26日付Ford FoundationのFundsによつて日本の科学者を米国に留学させる計画があるから適当な候補者を10月31日までに到着するよう推薦されたいと照会があつた。(添付資料省略)

よつて各支部にその旨照会すると同時に理事会にはかることとした。

## 支 部 だ よ り

(1)中部支部 (i)第6回幹事会(昭.26.9.4)8月行事報告,9月行事予定,10月支部総会,特別員入会勧誘,その他中部支部は全国でも最も活潑に事業を行っているから本部からの配賦増額方要請すること等協議した。

(ii)第2回講演と映画の会(昭.26.9.12.名鉄講堂)聴講者約200名,講演は立神支部長の挨拶に初まり軟弱地盤の電気処理について 名工大 越賀正隆 ケーブルエンクシジョンによる遠山川橋梁架設工事 国鉄 斎藤 徹 中部電力KKの電源開発計画 中部電力 渡部時也 矢作橋について 中部地建 諸井吏一 終つて引続き,見返資金による道路工事,鉄路に生きる,リンカントンネル,アメリカの自動車工,国連スクリンマガデン等の映画を映写した。

(2)関西支部 (i)第2回役員会(昭.26.9.12)新旧役員紹介,泉谷支部長の挨拶,関西工学連合講演会開催について,26年度事業計画等を協議した。

(ii)土質工学講習会 開催予報(別項お知らせ欄参照)

(iii)第4回関西工学連合講演会を10月13,14両日開催の通知に接した。(前号お知らせ欄の通り)

(iv)見学会(10月27日)の予報(大阪市高速鉄道建設工事)

(3)中国四国支部 第3回学術講演会を10月21,22両日広島大学において開催の由,講演数22題

昭和26年10月25日印刷 土木学会誌 定価 80円

昭和26年10月30日発行 第36巻第10号

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美  
印刷者 東京都港区溜池町5番地 大沼正吉  
印刷所 東京都港区溜池町5番地 株式会社技報堂

東京都中央局区内千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20)3945番

発行所 社団法人土木学会 振替東京16828番